

<http://www.city-machida-gakkoshien.org>

第2回小・中学校ボランティアコーディネーターミーティング(VCM)



10月18日(水)の第2回中学校VCMを皮切りに、中学校VCMは町田市役所2階市民協働おうえんルームで開催、指導課からも管理系の3名が参加、予算等について説明がありました。小学校地区VCMは各地区の小学校を会場として開催しました。

10月19日(木)午後は小学校5地区合同VCM
会場は1階図書室

銀杏の

採取期間中という事もあり、そこはかたく銀杏の匂いの立ち込める会場でした。会場では銀杏の実物販売もあり1袋100円で販売も行っていました。会場校の関雅人校長の挨拶で始まり、事業連携団体の玉川大学教師教育リサーチセンター様、町田市社会福祉協議会町田ボランティアセンター地区担当者様の挨拶、各VCからの報告等と和気あいあいとミーティングは進み、各校の課題等も出ていました。



10月20日(金)午後に3地区合同VCM、

会場は鶴川第二小学校2階研究室

小雨の降る中、校庭の芝生の緑が目にと優しくなりました。研究室での会合では会場校の後藤良秀校長の挨拶で始まり、町田市社会福祉協議会町田ボランティアセンターの地区担当者様。



また町田市教育委員会指導課管理係担当者から、来年度の地域学校協働本部事業モデル地区として地区統括ボランティアコーディネーターについての話がありました。10地区のうち、2地区を個別に実施(12月にミーティングを実施し意見交換を行う。日程会場調整中)2018年度同地区に来年度地区統括VCを指名するとのこと。モデル地区以外は1月にミーティングを行い、意見交換を行う等の話がありました。

10月24日（火）に4地区合同VCM、

会場は町田第一小学校1階ランチルーム広々としたランチルームでのゆったりとしたミーティングでした。町田市社会福祉協議会町田ボランティアセンター地区担当者様の挨拶で始まり各校のVCの報告と進み、各学校の課題成果等有意義な話し合いとなりました。

お忙しい中、駆けつけていただいた宮島徹校長からの挨拶もありました。



11月6日（月）

午前中は6地区合同VCM

会場は小川小学校1階ランチルーム。

閑静な住宅地の中子どもたちの声が気持ちよく響いていました。会場校の中田和夫校長の挨拶で始まり町田社会福祉協議会地区担当者様、町田生涯学習インストラクター地域会員様からのご挨拶。また町田税務署の担当者様から租税教室についてのお願いがありました。他市町村では65%に比べ町田市は25%とのこと是非、各校の取り組みをお願いしたいとのことでした。VCの方からはやりたいとの声があり学校とも相談したいとのことでした。



11月6日午後は1地区合同VCM、

会場は相原小学校。1階の和室で畳の上でのミーティングとなりました。小林憲一校長の挨拶で始まり桜美林大学地域社会連携室の担当者様、法政大学学生センター様、町田市社会福祉協議会町田ボランティアセンター地区担当者様、町田市生涯学習インストラクターの会地域会員様。そして町田税務署の担当者様から租税教室の募集のお願いがありました。（3地区にわたり説明ご苦労様でした）各学校からの報告は第1地区ならではの取組でした。



11月8日（水）午前中は2地区合同VCM、

会場は本町田小学校 2階会議室、明るい廊下を抜けて窓から見える芝生の校庭・法面の木の葉が色づき始めとても落ち着いた学校の風情でした。次の日から作品展、準備中の体育館の様子も垣間、見ることができました。ミーティングは渡辺恒彦校長の挨拶で始まり町田市社会福祉協議会町田ボランティアセンター地区担当者様、町田市生涯学習インストラクターの会 地域会員様つづいて町田税務署の担当者様からの租税教室のお誘い中学生



の作文は他市区町村より応募が多いとのこと

各地区のボランティアコーディネーターミーティング（VCM）では、学校支援センターから共通して○シルバー人材センターの人材活用状況について説明

○学生ボランティアの確保について

○今後のミーティングについて・学校支援センター（地域学校協働本部）事業地区分け案、モデル地区（12月にミーティングを実施し意見交換を行う）日程・会場調整中

○東京都教育支援コーディネーターフォーラムへのお誘い。

・12月10日（日）10時から16時、都庁第1本庁舎5階大会議場。

○感謝状贈呈候補者推薦について

・式典2018年2月6日（火）14:00～16:00 町田市民フォーラム3階ホール。

○9月20日都主催コーディネーター基礎研修（水道橋）について。

○各VCから5分程度、各校での活動および活動計画についての報告、情報提供、などがあり、若干の協議がされました。

・学校からの要望の内容とVCの対応、質問としては、中学校では部活指導者、小学校では学校支援ボランティア関連予算についてのこと等。

実践例（VC協力の成果）

9月19日（火） つくし野小学校 参観3年5.6時間目「繭の糸取り」の授業

GT 遠藤正さん（元教諭） 山口尚美（小山中央小VC）さん、

植野友紀子（木曽境川小VC）さん コーディネート安東栄（つくし野小VC）



ボランティアはスタンバイ。チャイムが鳴り、児童が着席、挨拶、GT 遠藤さんの蚕のお話、蚕は「お蚕さん」と呼ばれ大事にしてきたこと蚕の歴史、何種類もの繭の提示等、授業をして頂き質問など活発な質疑が行われました。

暑い晩夏の午後、つくし野小学校の理科室には牛乳パックを半分にした入れ物に蚕の繭が入っていて、いつでも糸取りを始められる準備が用意されていました。ゲストティーチャーとして遠藤（元教諭）さん、山口（小山中央小VC）さん、植野（木曽境川小VC）さん、つくし野小VC 安東さん、保護者





繭の糸取りでは歯ブラシを活用して繭の表面から糸を引き出し糸取りが始まりました。ペットボトルに糸を巻き付けていきます。根気のいる作業ですが3年生2クラスの児童は黙々と作業を続けておりました。途中には、昔、使った糸取り器を実際に動かして糸をとりその道具（歯車など木製）の性能の凄さにびっくりし、昔の人の工夫に感心しきりでした。

ペットボトルに巻き付けた糸は約 1000～1500 メー

トル位取れるとの話でした。

2時間の授業では全部巻き取れず、宿題となりました。担任と相談して巻き取る時間を工夫するそうです。なかなか経験できることではありません。3年生の児童にとってはいい体験となりました。保護者ボランティアの方も5名ほど参加して興味津々、児童と一緒に楽しそうに作業を進めていました。

VC協働・連携の成果の一つとして行われている授業となりました。情報の共有化・人材活用のモデルです。

例えば、この授業を見るとVCの相互の情報交換の一つの成果といえると思います。

○学校・学年の教育課程にゲストティーチャーとして招聘することができた。

○座繰り（糸取り器）などの本物をお借りして見せることができた。

今後も情報の共有化が進みより授業の役に立てることを目指していきたい。実物の提示、等は視覚に訴えることの重要性を感じた。これからも各学校のVC、地域・保護者ボランティア相互の連携をより深めていきましょう。

